地産地消の給食の実施

大網白里市立小中学校
11月中（各学校が定めた１日）

〇大網白里市が誇る自校方式による学校給食において、市内小・中学校の児童生徒を対象に、地元産の農水産物を取り入れた給食の日を実施しました。また、児童生徒の保護者に対しても献立表などにより地元産物について周知しました。
〇各小中学校において、創意工夫をこらした事業を展開しました。
【実践例（※学校によって、実践した内容は異なります。）】
・予定献立表で千産千消デーを知らせるとともに、材料として使用したさつまいもが市の農業研究会が栽培したものであることを伝える。
・配膳室前に「今日の千葉県産」を紹介する掲示コーナーを設ける。
・地元農協の協力を得て、市内産や山武郡市内産の新鮮な野菜を使用した。その他の食材も千葉県産をたくさん使った献立を提供した。
・給食の時間には、当日の千葉県産食材の種類とその割合、「千産千消」の意味や長所などについて放送で紹介した。
・実施週の学校だよりに千産千消デーの献立内容や写真を掲載した。